

DVを知り、被害から守る

新潟市でDV被害者の相談や支援などの活動を行っている人たちに「DV被害に遭わない」「被害を拡大させない」ために大切なことなどを聞きました。



NPO法人
新潟フェミニスト
カウンセリングセンターまど代表
(認定フェミニストカウンセラー)

おぎの 荻野 茂子さん

アルザにいがた相談室の「こころの相談」の専門相談員として、家族や恋人との悩みやDV、生き方など、さまざまな相談に応じている

度としない」と約束し、別人のように優しくなることもありま

被害者は「私にも悪いところがある」と自分を責め、「相手から怒られないためにはどうしたらいいか」ということしか考えられなくなり、次第に「逃げ」

DVが子どもにも与える影響

DVは子どもの心や体にさまざまな影響を与え、いわれ

「DVの原因が自分にあるのではないか」と思うようになり

DVには一定のサイクルがあります。加害者はずっと暴力を振るい続けるわけではありませ

小さなことでも相談を

DV被害を防ぐためには、できるだけ早い段階で対処することが大切

DV被害を受け続けた人は心に大きなトラウマ(心的外傷)を負ってしまい、日常生活にも支障

専門の相談員は小さな悩みでも話をしっかりと聞き、相談者に寄り添います。経済的支援などが必要

周りの人の理解も大切

DV被害者を守るためには、DVに対する周囲の理解も大切です。家族や友人などからDV被害

「あなたにも悪いところがあるんじゃないの」といった、DVを容認し被害者を責める言葉は決して

DVの種類

身体的暴力
殴る、蹴る、物を投げる、髪を引っ張る、首を絞める、ほか

精神的暴力
暴言を吐く、大声で怒鳴る、大事にしている物を壊す、無視する、人前でののしる、ほか

社会的暴力
外出を制限する、行動を監視する、交友関係や電話を監視する、ほか

性的暴力
性行為の強要、避妊に非協力的、無理やりポルノ映像・雑誌を見せる、ほか

経済的暴力
生活費を渡さない、「外で働くな」「仕事を辞めろ」と言う、ほか

子どもを利用した暴力
子どもを危険な目に遭わせる、子どもを盾にして脅す、ほか

自分が当てはまるかチェックしてみましょう
※一つでも当てはまる人は注意が必要です

<p>DV加害者かも…</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> この家のあるじは自分なので、周りは自分の考えに従うべきだ <input type="checkbox"/> 相手が自分の思い通りにならないと、激しい怒りを覚える <input type="checkbox"/> 相手が言うことを聞かないときは、手を上げることもやむを得ない <input type="checkbox"/> 相手の交友関係が気になって仕方がない 	<p>DV被害者かも…</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 相手に自分の本音は絶対言えない <input type="checkbox"/> 相手の機嫌を損ねないよう常に気を配っている <input type="checkbox"/> 何をしても「相手から怒られないか」が意思決定の基準になっている <input type="checkbox"/> 外出先や電話・メールの内容などを執拗に管理される
---	--

一人で悩まず相談を

配偶者・恋人・家族からの暴力についての相談を専門の相談員が受け付けます。相談先は別冊情報ひろば3面に掲載しています。

新潟市は「市民一人ひとりの人権が大切にされるまち」の実現のため、「人権教育・啓発推進計画」を策定し、人権教育・啓発についての各種施策に取り組んでいます。同計画は市政情報室(市役所本館)で閲覧できるほか、市ホームページにも掲載しています。

TOPICS
トピックス

問 広聴相談課(☎025-226-1016)

恋人同士でも起こり得る デートDV

デートDVとは

恋人や交際相手からの暴力をデートDVといい、暴力の種類はDVと同様のものが該当します。デートDVは中学生や高校生の間でも起こっており、「勝手にスマートフォンを見る」「メールの返信が遅いと怒る」など、スマートフォンに関わる暴力が多いことが特徴として挙げられます。

NPO法人
女のスペース・にいがた 代表
あつこ 朝倉 安都子さん

女性のさまざまな悩みなどの相談に応じている。デートDVや交際相手との上手な付き合い方を知ってもらおうと市内の中学・高校などで講演も行っている

デートDVを防ぐには、交際相手との対等な関係の築き方を学ぶことが大切です。良い関係づくりのための三つのポイント「尊重」「共感」「自己決定」です。「尊重」は、相手の気持ちを大切にすること。「共感」は「同感」とは違い、自分の考えとは違っても相手の立場で相手のことを理解しようとする。自己決定は、自分のことは自分で決めること。この三つを意識すると相手と良い関係を築きやすくなると思います。

このことを多くの人が知り、暴力に気付けるようになることが、DVの加害者・被害者を生まない社会の実現につながるのではないのでしょうか。

「付き合っていたらこれくらい普通だよ」という考えから、それぞれが加害者・被害者であるという認識がないことが多いです。